強制制動員真相究明ネットワーク「強制動員 ZOOM 講座」

●参加費無料、以下のＵＲＬに申し込みください。開催日の前日に URL 等連絡します。

●真相究明ネットでは、会員（年会費 3000 円）、募金を募っています。ご協力をお願いします。

送金先：郵便振替＜00930－9－297182　真相究明ネット＞

申込みはこちらから ⇩

https://forms.gle/R36L4yRS9sjijqNX9

ＱＲコード

＜第１回＞　2021 年 10 月 23 日（土）午後 3 時～4 時半

テーマ　「佐渡鉱山と朝鮮人労働者＋新史料」

（下記の佐渡鉱山の論文を報告し、新史料を紹介する。）

講　師　広瀬貞三さん（福岡大学名誉教授）

広瀬さんは、朝鮮近現代史、特に土木史をテーマに研究されている。『間組百年史』全２冊（1989、1990）（共著）、『産業の昭和社会史⑫土木』1993（共著）、『日本土木建設業史Ⅱ』2000（共著）、「水豊発電所建設による水没地問題ー朝鮮側を中心に」1991.4、「「官斡旋」と土建労働者－「道外斡旋」を中心に」1991.10、「植民地期朝鮮における官斡旋土建労働者」1995.4,「佐渡鉱山と朝鮮人労働者(1939～1945)」2000.3、「三信鉄道工事と朝鮮人労働者－『葉山嘉樹日記』を中心に」2001.3、「朝鮮総督府の労働官僚宮孝一」2008.5、「植民地期朝鮮における漢江水電の華川・清平ダム建設」2015.1、「戦前の三池炭鉱と朝鮮人労働者」2016.9、「戦前の木曽川における発電所工事と朝鮮人労働者」2018.12、「戦前の庄川における小牧ダム建設と朝鮮人労働者」2020.3 等を書かれている。

＜第２回＞　11 月 23 日（火、休）午後 3 時～4 時半

テーマ　「産業戦士にされる朝鮮人労働者」

講　師　木村嘉代子さん（ジャーナリスト）

木村さんは、戦争責任、働く人の権利などをテーマに執筆活動をされている。「"歴史を掘る"日韓の若者交流―浅茅野遺骨発掘調査」2010.9、「フランス軍専用売春宿 BMC」2016 などを執筆されている。本年８月、『朝鮮人「徴用工」問題を解きほぐす―室蘭・日本製鉄輪西製鉄所における外国人労働者「移入」の失敗』（寿郎社）を出版された。今回は、その中より、「朝鮮人労働者と日本人労務管理者（「特殊労務者の労務管理」他の記述紹介など）／朝鮮人労働者の訓練内容（新幌内鉱業所の訓練日課、八幡製鉄所の教育科目など）／軍需工業・鉄鋼業界に組み込まれた朝鮮人労働者／鉄鋼統制会の錬成会（日本人の精神錬成、朝鮮人労働者の参加）」について報告していただく。

主催：強制動員真相究明ネットワーク

〒657-0051 神戸市灘区八幡町 4-9-22　神戸学生青年センター内 TEL 078-851-2760　FAX 078-821-5878

https://ksyc.jp/sinsou-net/e-mail shinsoukyumei@gmail.com